



広報委員
 委員長 舟瀬勝
 副委員長 長谷川多一
 委員 貞森義和
 中西久博
 大野原徳
 大西徹



令和3年 第1回定例会 令和3年3月9日～18日

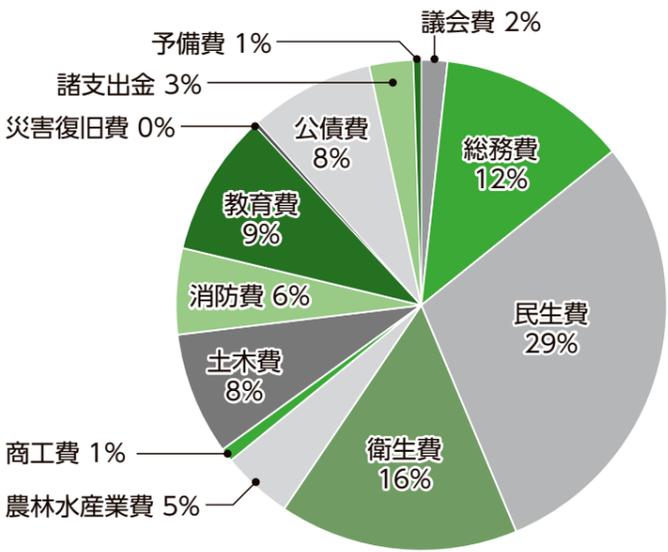
○令和3年度 一般会計当初予算 約39億6,100万円(昨年度比△約1億3,600万円)をふくめ、総額約66億7,800万円が上程され、議決いたしました。

当初予算の概要・目的

今回の予算は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス対策を最優先課題としたうえで、令和3年度からの新たな町の指針である「第7次総合計画」の第一歩として、「人・社会・住環境・にぎわい・体制」づくりを優先した予算となっております。

一般会計 科目別予算内容

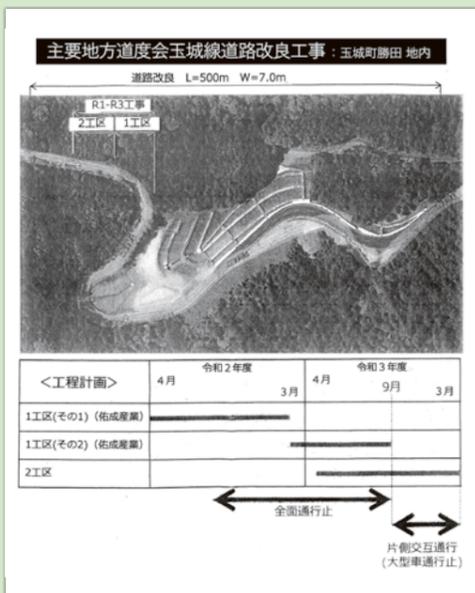
一般会計予算額



視察 3月11日

県道度会玉城線(通称・岩坂)の復旧工事

左図のとおり、本年10月から片側通行が可能となる予定です。



一般質問

貞森 義和 議員



○中学生の学校給食を無償に

学校給食の無償を提案したいところだが、小、中、保育所を同時には無理だと思う。

そこでも、中学校から無償には出来ないかと思うが町の考えを伺いたい。



○教育長答弁

学校給食につきましては、平成30年9月分から小中学校を、そして令和元年10月から保育所について半額補助をしているところでございます。

このことから、子育て支援施策としての給食費補助が義務教育にとどまらず幼、小、中と一貫した給食費約半額補助制度が実現しております。

ご指摘の、無償化につきましては、「子供たちの未来を思う気持ち」、「子育てを支援したい気持ち」は貞森議員さんと同じであります。

しかしながら、限りある財源の中、教育環境の整備、充実など子供たちへの直接的な施策に力を注いでまいりたいことから、幼、小、中一貫した半額補助制度を継続・維持していきたいと考えております。

若宮 淳也 議員



○度会町の子どもたちへのスポーツ支援の拡充について

度会町では小学校のソフトボールチームがアベックで全国大会、度会中学校では女子ソフトボール部は東海大会に出場を決め、相撲でも度会中学校の生徒が全国大会に出場しました。また、度会スポーツクラブの軟式野球からプロ傘下のチームに選ばれるなど、明るいニュースが多く入ってきています。度会町では度会スポーツクラブをはじめ、小中学生の様々なスポーツを支援していただいておりますが、各団体に十分な支援が行き届く手立てを度会スポーツクラブとも相談しながら、今後も検討いただきたいと思います。

とりわけ、地域や県を代表して出場する全国大会等は移動や食事、宿泊などで多額の経費も発生し、少子化で部員も少なく、保護者・指導者などの経済的な負担も大きくなってきています。全国大会など

町長答弁

令和2年9月定例会でもお答えさせていただいた

に出場するチームや選手に対しては更なる支援をしていくことが子どもたちの成長、度会町の発展につながると思います。度会町の子どもたちへのスポーツ支援の拡充について、どのようにお考えか伺います。



町長答弁

現在、コロナ禍のなかとはいえ、オリンピック・パラリンピック、さらに三重とこわか国体が次年度開催される予定となっております。国・県とも準備が進められているところであります。今年は、かつてないスポーツの年となっております。今年が、度会町でも、「三重とこわか国体」デモンストラーション競技「ウオーケラリー大会in度会町」として国体行事の先陣を切って開催を予定しているところであり、そこで、度会町では様々なスポーツ振興が図られているところでありますが、スポーツ活動を通じた青少年健全育成の母体として、平成23年に「度会スポーツクラブ」を設立しました。そして、現在、このクラブが中心となり、各種目団体に様々な支援を行っております。度会スポーツクラブ会員数は現在280名で、13団体が活動を行っておりますが、当クラブの活動資金は町補助金が主なものとなっております。令和2年度は昨年度から40万円増額の総額390万円としたところでございます。

次に、大会参加支援であります。補助内容として、全国大会は2分の1、東海大会は3分の1となっており、県内トップレベルの支援であると考えております。また、中学校の部活動におきましても、全国大会出場は全額補助、遠征試合等への交通費も含め、様々な支援策を実施し、学校スポーツの競技力向上のための方策を講じております。

全国大会での輝かしいスポーツによる活躍や子

どもたちの健全な発達に結びつく大きな力として、幼少期に家族や地域の人たちとの経験が生きていくと思えます。スポーツ関係団体や関係者並びにそれぞれの地域の皆様方のご理解・ご支援をお願いいたしまして、答弁とさせていただきます。

長谷川 多一 議員



○特徴ある小・中学校の教育体制について

これから社会に出ていく子供たちにとって、英語力とコンピュータに関する知識が必須ではないかと考えます。そこで、この度、配布したタブレット端末を有効活用し、小・中一貫したプログラミングの知識を身に付けさせる教育が必要かと思われま

す。また、この教育を他校に先駆けて行うことで当町の小・中学校を特徴ある学校と位置付けることにより、2次効果として、入学希望者が増加につながり、人口減少の歯止めの一助にもなるのではないかと考えております。

このような事から、今後の小・中学校に対する町長・教育長のお考えをお伺いします。

町長答弁

次年度からの「第七次総合計画」を策定するにあたって、長期的な視点で目指すべき町の将来像及び実現のための指標を示させていただきました。その中で、重点プロジェクトとして「未来へつなごう子育て」を掲げ、「幼少期からの英語スタートアップ事業」「GIGAスクール構想を活用した新しい教育活動の推進」を図っていくこととしています。そして、国際化・グローバル社会を見据え、早い段階から英語や国際文化に触れる機会をつくることで、子どもたちの興味・関心、コミュニケーション力を高め、就学後の主体的な学びへつなげていきたいと考えています。

また、プログラミング教育を含めたICT教育は今後重要な位置を占めていくと考えています。今年配布したタブレットに併せて各教室に電子黒板等も導入してICT環境を積極的に取り入れることにより、教育機器としてのツールが広がることにより、子どもたちが主体的に、創造性をはぐくみ、教育の町度会町へと可能性を広げ、魅力あるまちづくりとして期待をしています。

教育長答弁

タブレットなど情報通信技術を教育現場で活用する「ICT教育」の目的は大きく二つ挙げられると認識しています。一つは学力を育成するために分かりやすい事業実現のツールとして効果的に使用すること。もう一つは、インターネット環境から知り得た知識や情報を主体的に選び活用できる能力や想像力の育成が急がれていると考えます。

今後度会の学校では、先進的教育機器を積極的に取り入れることにより、教育環境が広がり、子どもたちが主体的で、創造性に満ちた教育の町として、魅力あふれるまちづくりに努めていきたいと思えます。

○高齢者が生き生きと暮らせる度会町について

前回、町長からすでに、現在の「おたすけ隊」活動を充実したうえで、将来的には、センター設立を検討したいとの回答をいただいております。この度の第七次度会町総合計画にも明記されたことから、早急な設立について町長のお考えをお伺いします。



町長答弁

他町の視察や社会福祉協議会と協議し設立に向けて協議し三重県シルバー人材センターへも意見の照会を行ってまいりました。シルバー人材セン

ター設立については、おたすけ隊を運営する社会福祉協議会と連携し国から補助をうけるために独立した一般社団法人の設立を検討していきたいと考えております。

しかしながら、法人運営には担い手確保や民営事業者との調整も考えていかなければなりません。さらには設立運営には町からの支援が必要となります。健全な運営継続のためにも慎重に制度設計を行う必要性があります。そのために、さまざまな課題を解決し「第七次度会町総合計画」期間内の設立を目指し進めてまいります。

トピックス!
度会町内のバス移動が便利になりました!



町内何処でも100円で乗れます!

※利用券を使うと、三重交通のバスも100円で利用できます。

バス停が近くなりました!

※町営バスは、いままですでに遠かったバス停を近くにしてきました。

町営バスは、次のように各ルート1回/週の運行ですが、三重交通バスも利用できるため、組み合わせれば大変便利だと思います。

- ・宮川ルート …… 毎週月曜日(2往復)
- ・川南ルート …… 毎週火曜日(2往復)
- ・一之瀬川ルート …… 毎週金曜日(2往復)

以上のように、4月1日からは、今までと比べて、大変便利になったと思いますので、週に一度は、買い物などに出かけてみませんか?

*詳しくは、広報度会3月・4月号をご確認ください。